

[10] 巨刺(左右刺)、上下刺、対角刺

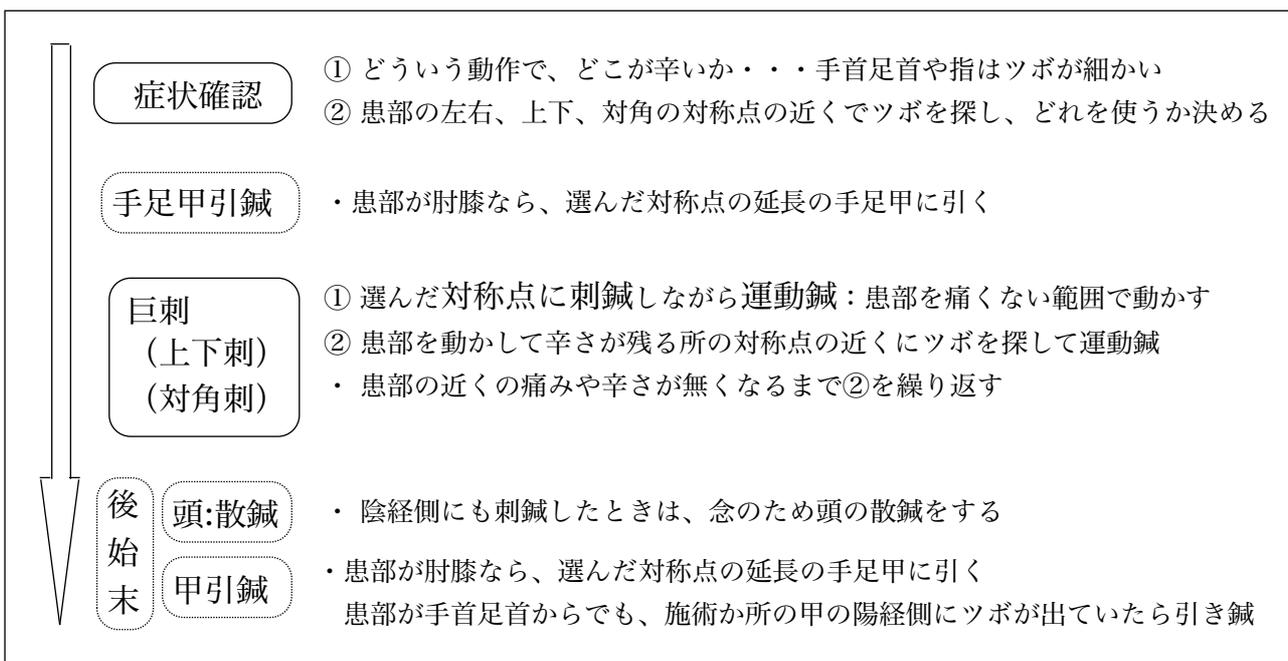
(1) 手足甲以外の「遠く」

応急処置の原則：「遠くに強く引く」

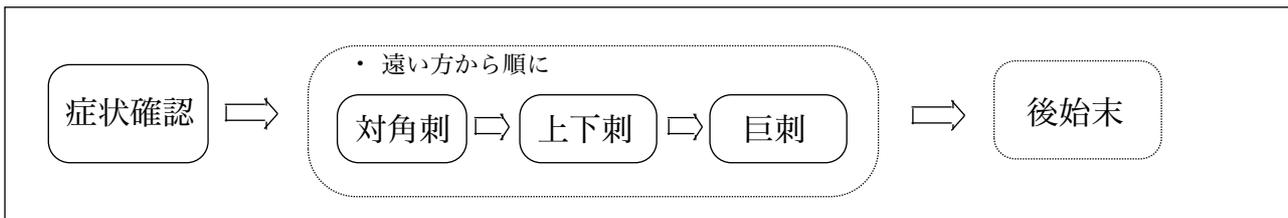
が、手足の甲と患部が近いと患部の邪氣を手足の甲に引きにくい>>>>>>別の「遠く」が使われる

- ①巨刺：患部の左右反対側にツボを探して刺鍼
(左右刺) 例：右手親指の痛みに、左手親指まわりのツボで治療
- ②上下刺：患部の上下反対側にツボを探して刺鍼
例：右膝の痛みに、右肘まわりのツボに刺鍼して運動鍼（階段昇降）
- ③対角刺：患部の対角反対側にツボを探して刺鍼
例：右足首の痛みに、左手首まわりのツボで治療

(2) 巨刺、上下刺、対角刺による応急処置



(3) 巨刺、上下刺、対角刺の組み合わせによる応急処置・・・足首捻挫などの場合



※ 痛くて患部に触れない足首捻挫などのときには、対角刺、上下刺、巨刺の患部に近づいてもよい
(*) 指の周辺の巨刺などでは、ツボが細かいので捻鍼法の方が良いこともある。